

IIDA 日本支部の皆様

先日は、多大なお見舞いありがとうございました。

震災から4ヶ月がたちました。

報道やメディアにてご存知かと思われませんが、被災地は復興にむけてがんばっています。(多少のスピードの違いはありますが)

私どもは、日頃特注家具の設計及び製作施工を行っております。

(住宅(高額所得者)とゼネコンを中心に業務しております。)

その立場にて現在の仙台の建築の状況を周知できる範囲としてお伝えします。

ビル等の法人建築物につきましては、震災による被災調査のうえ予算がついたものが着工している状況です。(3月決算が絡んでいるらしい)

しかし、震災特需の様相が濃く施工単価も上昇し、特に仙台市内の業者は、津波被災地へ仙台市内には他県からの業者が施工している状況です。

ちなみに私どもは、現在仙台空港の震災復旧による家具の復旧製作をしております。

但し、まだ海岸付近につきましては、瓦礫の撤去が進行中の為、建築工事とまでは至っておりません。

住宅に関しては、仮設住宅が先行の為、まだまだのようです。

ましてインテリア工事となると復旧・修復が先の為、まったく予測できない状況です。

その中で、先日 IIDA としてなにかできるかと問い合わせがありました。

募金による義援金も良いのですが、義援金の行方が不透明になっているようです。

私が考えるには、インテリアとして被災地への救済としましては、

メーカーもしくは仙台にあるインテリア団体(例:宮城コーディネーター倶楽部)

等に協賛し情報等の発信をしたほうがより I I D A としてリライフを応援

できるかと思えます。

メンバーの皆様へ

1000年に一度といわれます大震災でした。経済も100年に一度の不況といわれております。

まして原発による節電とインテリアにとって最悪の情勢となっておりますが、

情報の共有こそが乗り切る手段かと思われます。

東北は、がんばります。皆様もがんばってください。

時間がもしできましたら一度、被災地を体感してください。(報道とは違いますから)

2011.07.11

SLOW HAND 株式会社 小柴